は十字の溝がカットされ、 リアルを複合したという。底面に 樹脂ほかあわせて8種類ものマテ ると軽い。約55gだ。複合材とい エルトも見える。 ったが、ブレーキ用のフェノール 高さ15㎜の薄型で、持ってみ 赤いフ

だろうな。と構えていたところ、 ひとつひとつ腑に落ちる答えがか 特許をとるほどだから、さぞ難解 り、強いこだわりがあります」と 小林さん。学会で論文発表したり 「そのすべてに理論的な意味があ

孔率(小さな孔)を変えることによ だくと、ポイントは微細な孔のあ って、ブレーキの摩擦係数も自由 フェノール樹脂で、その比重と気 いた複合材を使うこと。メインは に調整できるという。 ディスクブレーキを考えていた

また、金属の粒を使っているので るのです。全部きれいにすればよ てきた。「音がよくなる粗さがあ このノウハウを生かしたインシュ ほど高度な研究である。 設置の方向性はないそうだ。なる いというものではありません」。 大きく音が変化することがわかっ 時間、あるいは配合比によって 実験する中で、研磨の粗さや磨く レーターはもちろん世界初。色々 「混ぜて固める」のが基本だが

最適な配合率を見出したさまざまな楽器や声楽に

らもウロコのポイントのみ紹介し 詳細は非公開で難解にもなるか ここでは目からウロコ。耳か

違うのは、さまざまな楽器や声楽 に適した材料と適切な配合率を見 他のインシュレーターと大きく

体音が表現できるという。こうい すなわち音が分かれて聴こえるか 図があるが、原料の種類は「音色 深い研究とデータに裏づけられた いきってしまうのも驚くのだが、 る要素となる。結果、生に近い立 配合率で、これは「音圧」を決め どうかの目安だ。3つめが原料の に関係。その粒径は「音の分離性」。 ここに8つの楽器の周波数帯の

の3要素を絶妙にチューンするの めながら、「種類、粒径、配合率 8種類の素材を、すべて耳で確か みる。その音の特徴にマッチした と、楽器ごとに帯域を割りあてて ース、チェロ、ギター・声楽…… そこで低い方からバスドラ・ベ

> をすべて試し、5年かかったとい えないが、2000種類の原材料 は出ない。とても人間ワザとは思 である。0・1%違っても狙う音

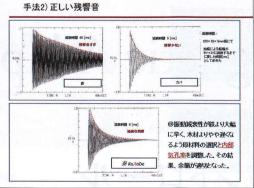
全体のバランスを整えつつ 本来あるべき実在感を再現 ● 「KaNaDeO1」の音質

型だと振動がまわるため、4つに カットしたそうだ。 のスリットは音圧バランスを明確 にするため。フェルトはドーナツ 製品について補足すると、十字

ターも、ストリングスもすべての き出してくる。だからピアノもギ だ。 何が向上したのか?一部で ャズやオペラのステージが立体的 クッキリと明晰なだけでなく、背 タリと揃う。輪郭やディテールが 要だが、フォーカスも位相も、ピ 馴染むまで多少のエージングは必 ジワっとくる感じだ。フェルトが 流のコンポで試してみた。効果は や音色の深さ。そして実像感を引 はなく、全体のバランスをきれい 景とのつながりに無理がなく、ジ に整えながら、本来あるべき質感 指定どおり、プレーヤーなど上

> ウンンジ・ライブでは、超高速の 楽器や声がすばらしくナチュラル インシュレーターの効果検証のご イブの共有感をも追体験させた。 のことだろう。生ピアノに生ベー れかえる熱気まで、途方もなく鮮 される。空間のサイズや若者の溢 段と華麗かつ繊細なタッチで表現 弓の上げ下げやビブラートが、 た。例えばムターのイエロー・ラ で、かつ表情が有機的に感じられ ス、生ドラムに包まれながら、ラ しかりだ。生命力あふれるとはこ 烈に伝わりのけぞった。ジャズも はじまったばかりKaNaDe

作所の製造ラインなど訪問しよう。 ではいよいよ「KaNaDe誕生 考えるだけでワクワクする。次号 調にオーダーメイド!……。と、 配合などを変え、ユーザーが好む 代が来たと言えそうだ。であれば グであり、インシュレーターによ 改善が見られた。個々の楽器の音 これまでをはるかに凌駕する音質 報告だが、ダイレクト受けであれ の地を訪ねて」と題して、金井製 って積極的に音づくりを楽しむ時 を最高度に引き立てるチューニン コンポのフットに敷いた場合も、





個 一々の楽器の音を最高度に引き立てるチューニング レーターで積極的に音づくりを楽 む時代

> ■問い合わせ先:(株)金井製作所 インシュレーター部 TEL:0480-58-3311(代表) 〒340-0203埼玉県久喜市桜田5-8-3 ホームページ: http://composite-inshulator.p2.weblife.me